

第4学年外国語活動指導学習指導案

時間・場所 公開授業② 若草ホール

学 級 4年4組 29名 (男子15名 女子14名)

指 導 者 北館 弘江

1 単元名 Do you have a pen? 「おすすめの文房具セットをつくろう」(Let's Try!2 Unit5)

2 単元について

本学級の児童は、興味関心をもちながら意欲的に外国語活動に取り組んできている。コミュニケーション活動では、お互いに教え合いながら自分の伝えたいことを表現し、友達との関わりを楽しんでいる。友達との関わりを楽しめる活動を意図的に取り入れてきたことで、友達のことを知る楽しさを味わっている児童が増えてきているが、クラスの友達と進んで交流しようとしないう児童もいる。

本単元では、児童の身の回りにある文房具を英語で扱うことで、英語をより身近に感じ、児童の興味関心を高める。単元の最後に、お店屋さんごっこの要領でやり取りをして、相手のために考えたおすすめの文房具を作る。相手意識と目的意識のある場面設定を大切にしながらコミュニケーション活動をしていく。

指導にあたって、まず単元のゴールの姿を示し、単元の見通しをもたせる。チャンツやゲーム等を繰り返し取り入れて、「持っている」「持っていない」の表現に慣れ親しませていく。最後には、相手意識を持たせながら文房具セットを作り、相手のためにどのような文房具セットを作ったのかを理由とともに紹介させたい。

3 単元目標及び評価規準

(1) 単元目標

- ・文房具などの持ち物について、進んで尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。
- ・文房具など学校で使う物の言い方や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・身の回りの物について、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付く。

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
文房具などの持ち物について進んで尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。	文房具など学校で使う物の言い方や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	身の回りの物について、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付いている。

4 単元計画 (総時数4時間)

時	目 標	主な学習内容
1	身の回りの物について、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付く。	いろいろな文房具を英語で言ってみよう。
2	文房具などの学校で使う持ち物の言い方に慣れ親しむ。	文房具ゲームをしよう。
3	文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	文房具セットについて、尋ねたり答えたりしよう。
4	相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。	おすすめの文房具セットを作ろう。 【本時】

5 本時の指導（4／4）

（1）目標

相手に配慮しながら，文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。

（2）「振り返り」の工夫

- ・単元の学習を整理し，持ち物を尋ねたり答えたりすることや，相手のことを思い図りながら活動を行ったことを価値付ける。
- ・「単元を通して付いた力」「英語で友達とコミュニケーション活動をして思ったこと」という視点で児童に振り返りを書かせ，交流することで本単元の学びを自覚させる。

（3）展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価（□）
導入 5分	1 挨拶をする。 Hello. I'm fine. 2 Let's sing "Let's Start English Class" 3 本時の見通しをもち，めあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> おすすめの文房具セットを作ろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーをつけて自分の状態を表現させ，お互いの様子に気付くようにさせる。 ・楽しい雰囲気での学習を始めることができるようにする。 ・本時のメニューを提示し，見通しと課題意識をもたせる。
展開 30分	4 Let's Chant "Do you have a pen?" 5 身近な人に文房具セットを贈ろう。 ① 身近な人のための文房具セットを何にするかを考える。 ② 文房具を渡す側ともらう側に分かれ，文房具セットの中身を集める。 Do you have ~? Yes, I do. Here you are. / No, I don't. Sorry. ③ グループ内で，誰のためにどのような文房具セットを作ったのかを紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンツに入れる語や形態を変えて何度も行わせる。 ・身近な人のために文房具セットを作ること知らせ，教師が作った文房具セットを理由と共に紹介する。 ・デモンストレーションを行い，活動をイメージさせる。 ・相手を意識してセットを作った児童に紹介させ，まとめとする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 誰のためにどのような文房具セットを作ったのか伝え合っている。 【学習活動の様子・振り返りシート】 </div>
終末 10分	6 本時を振り返る。 ・振り返りを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ・〇〇さんが作った文房具セットの理由を聞いて，相手のことを考えているなと思った。友達のことをもっと英語でたずねてみたくなった。 ・自分のことを考えて作ってもらってうれしかった。（第Ⅲ型） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習を整理し，持ち物を尋ねたり答えたりすることや，相手のことを思い図りながら活動を行ったことを価値付ける。 ・「単元を通して付いた力」「英語で友達とコミュニケーション活動をして思ったこと」という視点で児童に振り返りを書かせ，交流することで本単元の学びを自覚させる。

第4学年外国語活動学習指導案

時間・場所 公開授業① 若草ホール

学 級 4年3組 30名（男15名，女15名）

指 導 者 飯沼 真季子

1 単元名 Do you have a pen? 「おすすめの文房具セットをつくろう」(Let's Try!2 Unit5)

2 単元について

本学級の児童は、興味関心をもちながら意欲的に外国語活動に取り組んできている。コミュニケーション活動では、お互いに教え合いながら自分の伝えたいことを表現し、友達との関わりを楽しんでいる。友達との関わりを楽しめる活動を意図的に取り入れてきたことで、友達のことを知る楽しさを味わっている児童が増えてきている。

本単元では、児童の身の回りにある文房具を英語で扱うことで、英語をより身近に感じ、児童の興味・関心を高める。単元の最後に、お店屋さんごっこの要領でやり取りして、相手のために考えたおすすめの文房具を作る。相手意識と目的意識のある場面設定を大切にしていきながらコミュニケーション活動をしていく。

指導にあたって、まず単元のゴールの姿を示し、単元の見通しをもたせる。チャンツやゲーム等を繰り返し取り入れて、「持っている」「持っていない」の表現に慣れ親しませていく。最後には、相手意識をもたせながら文房具セットを作り、相手のためにどのような文房具セットを作ったのかを理由とともに紹介させたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- ・文房具などの持ち物について、進んで尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。
- ・文房具など学校で使う物の言い方や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・身の回りの物について、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付く。

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
文房具などの持ち物について、進んで尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。	文房具など学校で使う物の言い方や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	身の回りの物について、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付いている。

4 単元計画（総時数4時間）

時	目 標	主な学習内容
1	身の回りの物について、英語の音声やリズムなど日本語との違いに気付く。	いろいろな文房具を英語で言ってみよう。
2	文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。	文房具ゲームをしよう。
3	文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	文房具セットについて尋ねたり答えたりしよう。【本時】
4	相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。	おすすめの文房具セットを作ろう。

5 本時の指導 (3/4)

(1) 目標

文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

(2) 「振り返り」の工夫

- ・本時の学習を整理し、持ち物を尋ねたり答えたりすることや、相手のことを考えながら活動を行ったことを価値付ける。
- ・「文房具セットを作り、友達と伝えあって思ったこと」という視点を示して児童に振り返りを書かせ、交流することで学びを自覚させる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価 (□)
導入 4分	<p>1 挨拶をする。 Hello. I'm fine/happy/hungry /sleepy.</p> <p>2 Let's Sing "Let's Start English Class"</p> <p>3 本時の見通しをもち、めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>文房具セットについてたずねたり答えたりしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーをつけて自分の状態を表現させ、お互いの様子に気付くようにさせる。 ・楽しい雰囲気での学習を始めることができるようにする。 ・本時の目標と活動内容を提示し、見通しとゴールの姿をイメージさせる。
展開 34分	<p>4 Let's Chant "Do you have a pen?"</p> <p>5 Let's Watch and Think 2 映像を見て、気付いたことを書いて、発表する。</p> <p>6 Let's Play2 文房具セットを作る。</p> <p>① ペアになり、Aはどんな文房具セットにしたいかを考え、文房具の絵カードを置く。(Bには見せない。)</p> <p>② BはAが考えた文房具セットを予想し、Do you have～?と尋ね、Aと同じ文房具セットを作る。</p> <p>Do you have ~? Yes,I do. (I have～.) No,I don't. (I don't have～.)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物を変えながら、何度も言わせるようにする。 ・世界の子どもたちのかばんの中身を予想させ共通点や相違点、気付いたことなどを発表させる。 ・デモンストレーションを行い、活動をイメージさせることで、安心してコミュニケーション活動ができるようにする。 ・ペアで相手の持っている物を予想しながら、文房具セットを作らせ、友達とのコミュニケーションを楽しませたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>文房具など学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>【学習活動の様子・振り返りシート】</p> </div>
終末 7分	<p>7 振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に英語で持ち物を尋ねられたし、自分のことも上手に伝えることができて楽しかった。(第Ⅱ型) ・友達が上手に英語で聞いてきたので、答えやすかった。(第Ⅲ型) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を整理し、持ち物を尋ねたり答えたりすることや、相手のことを考えながら活動を行ったことを価値付ける。 ・「文房具セットを作り、友達と伝えあって思ったこと」という視点を示して、児童に振り返りを書かせ、交流することで学びを自覚させる。